

高エネルギー加速器セミナーOHO'18開催報告

9月4日～7日、高エネルギー加速器研究機構において高エネルギー加速器セミナー OHO'18 開催されました。企画・運営を担当された高エネルギー加速器研究機構・加速器研究施設の小林幸則教授にお話を伺いました。

高エネルギー加速器セミナー、OHOは1984年以来、将来の高エネルギー加速器をにう若手研究者の育成と、一般企業の研究者の加速器科学への理解を深めることを目的として、毎年開催されてきました。日本の加速器科学分野の第一線で活躍中の各分野の専門家が、その年のテーマ毎に最先端の加速器科学を基礎から講義しています。2018年9月4日～7日までの4日間にわたり「大強度陽子加速器の現状と将来 -さらなる大強度ビームを目指して-」と題して、KEKに於いて開催され、企業、研究所、技術者、大学などの研究者、大学院生、大学生など97名が全国から参加しました。

大強度陽子加速器J-PARCが稼働を開始して、早くも10年が経過しました。これまで様々な苦難を乗り越え、現在は世界最高レベルの陽子ビーム強度を実現しています。今回のセミナーでは、その加速器の現状とさらなる大強度化を目指す将来について学びました。

講義風景

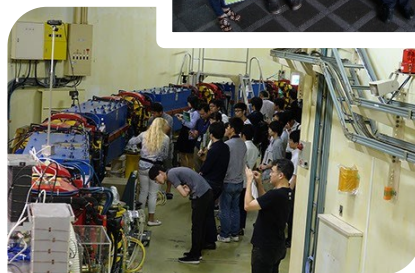


施設見学



今年のOHOの特筆すべき点は、講師の皆様の熱意が伝わり、参加者全員最後まで熱心に拝聴していました。プログラムには施設見学もあり、電子陽電子入射器棟(LINAC)、放射光施設(PFリング)、そしてコンパクトERLを見学しました。

またOHOの呼びものの一つである「夜話」(講義ではなく研究者の方の経験談などを伺う)では、筑波大学 医学医療系准教授 生命医科学域 陽子線医学利用研究センターより熊田博明氏にお越しいただき、BNCT -大強度小型粒子加速器が可能にする新しいガン治療-について、大変感慨深いお話しをしていただきました。



今後も、TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環として、他機関と連携しながら若手研究者育成のさらなる可能性を広げていくことが期待されます。

開催日	2017年9月4日(火)～7日(金)
場所	高エネルギー加速器研究機構 3号館セミナーホール
主催	高エネルギー加速器研究機構、総合研究大学院大学、公益財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会
参加人数	97名 (内 大学院生6名、学部・高専生13名)

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-4028 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp